



# なぜあなたはまだ幸せではないのか？

あなたの幸せな未来をつくる  
ミシェル式生き方レシピ

ミシェル・メイ・美菜子



なぜあなたはまだ幸せではないのでしょうか？

## はじめに

こんにちは！ ミシエルです。

この本を手にとっていただいて、ありがとうございます。

私は普段、西洋占星術の鑑定を仕事にしていますが、この本は占星術のテキストではありません。今までお会いしてきた方々との鑑定や、私自身を題材にしてきた内観のプロセスなどから、自分という存在を素晴らしく変化させていくノウハウを確信してきましたので、それを本にまとめたものです。

“自分を変化させていく”というのは、紛れもなく、“幸せを求めていく”のと同じです。

また、本の中でもお話ししていますが、「幸せ」というのは決まった形があるわけではなく、ゴールでもありません。

「幸せ」とは、毎日の中で、小さな幸せを感じる時間が少しずつ増えていくようなものです。そういう日常の過ごし方がすべて、自分の「幸せ」に繋がっているのだと思います。

そういうスタンスで、この本は書かれています。

ところで、私が鑑定で使うホロスコープチャートは深層心理を読んでいくものですから、鑑定が心理カウンセリングのようになることも多々あるのですが、私は人の心理にとっても興味があり、好きなのです。自分の心に興味が尽きないと言ってもいいくらいです。

遡ると、高校生時代に手にしたフロイトの夢判断辺りから、それは始まっていたのかもしれない。当時は哲学にも興味があり、ボーヴォワールの実存主義の本にハマったこともありました。とても刹那的でした。

そもそも「どうしてこの世に生まれてきて、なんのために生きているわけ？」という素朴な疑問がありました。

私は小学生の時に実の母を亡くし、その後の継母とはうまくいかず、家庭環境は当時の私にとってはかなりヘビーなものでした。そんな家庭環境もあって、思春期には「なんで生まれてきたのだろう？」という問いが、いつも心の中に存在していたのです。

今でもそうした問いを持っていますが、今はマイナスの意味ではなく、それが素敵な原動力となっています。

その後、短大へ進学し、就職、結婚そして出産・子育てと、わかりやすいコースを辿るのですが、

間をあけること十数年、私はまた壁に当たります。

「なんのために生きているのだろうか？」と。

その頃は結婚生活に課題を抱えていました。そして私にとっては第二期の自分探究時代が始まります。

心理学者であるユングの本を読みあさったのはこの頃です。しかし最も衝撃的だったのは、理論物理学者が書いたシンクロニシティの本でした。

私は12星座占いを、ずっとごく普通におもしろいと感じていましたが、この第二期自分探究時代にふと見つけたのが、西洋占星術の講座であり、それが星との新たな出会いでもありました。

元々、宇宙の話も大好きでしたから、天空で繰り広げられる様々な物語や、そこで示唆される世界観に入り込んだものです。

するとある時、ユングとシンクロニシティと12星座と宇宙とが、みんな一気に線で繋がるような感覚がありました。

ブレイクスルーとでもいいますか、この感覚は、私の人生ではかなりエキサイティングなものでした。例えば哲学と宗教の線引きが難しいのと同じように、それらは融合するしかなかったのです、私の中で。

「どうして生まれてきたのだろうか？」という問いは、誰しも持っているのではないかと思います。生き生きと充実して過ごしている時には、あまり差し迫って感じるものではありません。

しかし、当時の私にとってそれは死活問題のように重く立ちはだかつていました。

だからこそ、今の自分がある……ということは言うまでもありません。その途中経過では、思いもよらない自分の本音に何度も出会いました。

自分の心の奥底では一体何が起こっているのだろうか？ と、ひたすら心の探究をしていた時期もありました。

そして今、

自分探究という旅の途中で覚えたホロスコープチャートの解説を仕事にしています。読みあさった書物や自分が乗り越えてきた体験も、仕事に生かしているからこそ、今の私があります。

結婚して出産し、娘と出会い、時をおいて離婚して、そして新しい出会いとパートナーとの関係があり、人生はけっこう盛りだくさんです。

そのどれもが必要不可欠であったと、つくづく感じます。

宇宙に無意味なものはないのだと確信しています。

不要なものは何一つありません。まったく。何一つ。

足踏みも「その次」のために必要なことです。

どうぞこれらのことを前提として、この本をご活用いただければと願っています。

愛をこめて。

ミシェル・メイ・美菜子☆